

【様式1-1】

福島町 長寿命化修繕計画

平成25年3月

福島町 建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

福島町が管理する橋梁は、平成23年度現在で54橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の9%を占めており、20年後の平成44年には、74%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。

2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的な橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで福島町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るため橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

平成23年度
5橋

平成43年度
41橋
(76%)

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	町道	合計
全管理橋梁数	0	0	54	54
うち計画の対象橋梁数	0	0	54	54
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成23年度計画策定橋梁数	0	0	54	54

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

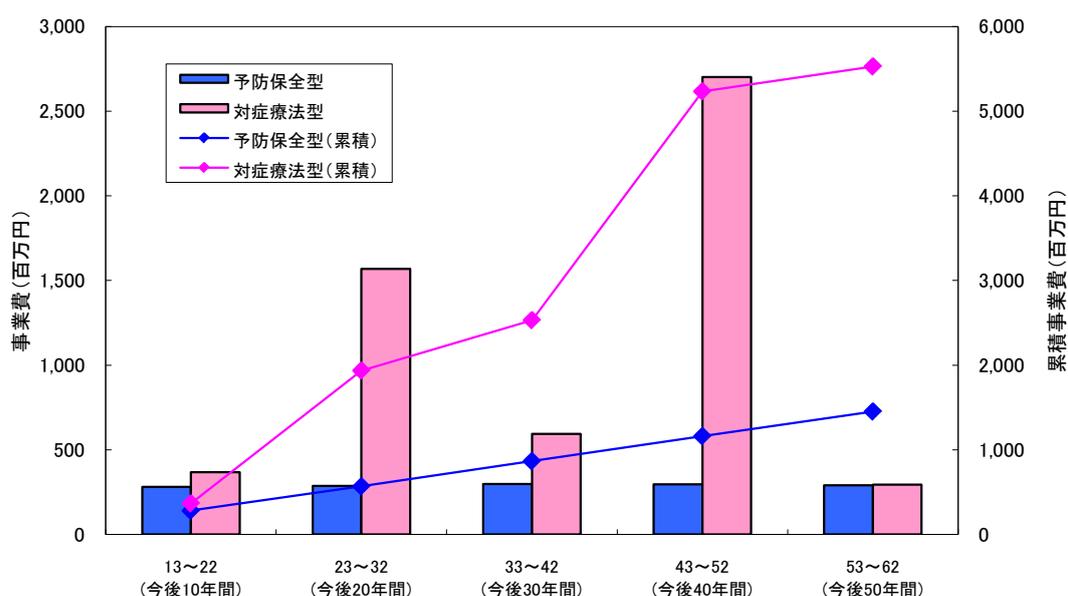
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

町が管理する橋梁の中で、架設後30～50年経過した橋梁は全体の約76%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及架替えに要するコストを縮減する。

5. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する54橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が55億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が15億円となり、コスト縮減効果は40億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

福島町 建設課 tel : 0139-47-3006

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

北海道大学 名誉教授 角田 與史雄